

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 6 年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	見附駅前広場地中熱利用設備整備事業
補助事業者名	新潟県 見附市
補助事業の概要	1. 地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の導入 本市が進める見附駅周辺整備事業に伴い、見附駅東口広場の改修に合わせ、歩行者通路部においてヒートパイプシステムを導入した。 2. 地中熱融雪システム導入に関する周知 市民への理解促進に繋げるための取り組みとして、市ホームページなどを通じ、地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の概要と多くの整備効果が見込まれる持続可能性の高いシステムであることを周知・啓発した。
総事業費	37,813,600円
補助金充当額	34,991,000円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 (提案書から転記)	① エネルギー削減量 76 GJ 今回の導入システムのエネルギー消費量=0 GJ 比較対象システム（灯油ボイラー）エネルギー消費量=76 GJ ② CO2削減量 5.1 t-CO2 導入システムのCO2排出量=0 t-CO2 比較対象システム（灯油ボイラー）CO2排出量=5.1 t-CO2 ③ エネルギーに対する市民の認知度・関心度 4%向上 駅前バス停留所の1週間あたりの乗降者数 200人増加
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	① 達成 ② 達成 ③ 従前値 47.0% ⇒ 52.1% (5.1%向上) ※③については、R7.2/12~2/28 まで見附駅交流拠点においてQRコードを掲示し「地中熱融雪システム（ヒートパイプ）に関するアンケート」を実施した結果より 376人増加（※R7.1.13~1.19の1週間あたりの乗降者数。従前値を計測したR4.10月時点よりもバス利用者が増加）
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 (提案書から転記)	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況【任意】	

補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約の目的	地中熱融雪システム（ヒートパイプシステム）の整備工事を外注するため。
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方	エムケイ開発株式会社
	契約金額	37,813,600円
来年度以降の事業見通し		